

第3回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 ワークショップ 概要書

ワークショップ名	病院総合医の集い（小病院の病院総合医の役割を考える）
----------	----------------------------

開催の目的	近年、地域の第一線での地域医療の崩壊が全国で問題となっております。そして、そのような地域で活躍する総合医をどのように育成するかが喫緊の課題になっております。今まで病院総合医部会では、中規模病院以上の病院での病院総合医育成システムについて議論してきましたが、小病院についてはほとんど議論されておられません。そこで、今回は、地域密着型の小規模病院での総合医の役割とその育成について議論したいと思います。
対象	■その他（小病院の総合医の役割や人材育成に関心のある医療者）
定員	定員：42名（講師を除く）
講師名	<p>企画責任者 山城 清二（富山大学附属病院総合診療部）</p> <p>共同企画者 小泉 俊三（財団法人東光会 七条診療所） 大滝 純司（北海道大学医学教育推進センター）</p> <p>発表者1 佐藤 元美（岩手県一関市 国保藤沢町民病院）</p> <p>発表者2 木村 眞司（北海道松前郡松前町 町立松前病院）</p> <p>発表者3 本田 宜久（福岡県飯塚市 医療法人博愛会 穎田病院）</p> <p>発表者4 大野 每子（佐賀県唐津市 唐津市民病院きたはた）</p>
概要	<p>前半では、小病院モデルとして、現在注目されている4つの施設に各々の取り組みを紹介していただきます。そして、後半では全体討論をいたします。参加者が各々の悩みを気楽に話せるWSにしたいと思います。</p> <p>① 小病院モデルの紹介（40分：各施設10分） 岩手県一関市、国保藤沢病院（54床）：佐藤元美 北海道松前郡松前町、町立松前病院（100床）：木村眞司 福岡県飯塚市、医療法人博愛会 穎田病院（90床）：本田宜久 佐賀県唐津市、唐津市民病院きたはた（医療療養型56床）：大野每子</p> <p>② 質疑応答+全体討論（40分）</p>